

曲目紹介

●ドビュッシー：ヴァイオリンとピアノのためのソナタ

ドビュッシー (Claude Achille Debussy 1862 - 1918) はフランスの作曲家。

1894年に発表した管弦楽曲「牧神の午後への前奏曲」は、調性によらない旋律、機能を離れた豊かな和声、明瞭な拍子を持たないリズムなど、それまでのクラシック音楽とは異なる表現の扉を開いた記念碑的な作品でした。

ヴァイオリンとピアノのためのソナタは、ドビュッシーの最後の作品で1917年5月に初演されました。フランスはドイツとの第1次世界大戦を行っている最中の時期です。

初演を行ったのは

ヴァイオリン ガストン・プーレ (今日の演奏者ジェラルド・プーレの父親 1892-1974)

ピアノ ドビュッシー

の2人でした。作曲に際してもガストン・プーレからヴァイオリンの技術面からの助言を得ています。

今日の演奏者ジェラルド・プーレは父親のガストン・プーレから教わった運指などを盛り込んだ校訂版を出版しています。最新版 (音楽之友社版) には川島余里さんの校訂も加えられています。

また、ジェラルド・プーレの前回の米子での例会 (2011年3月) においても、川島さんと2人で、この曲を演奏しています。

第1楽章 Allegro Vivo 3/4拍子

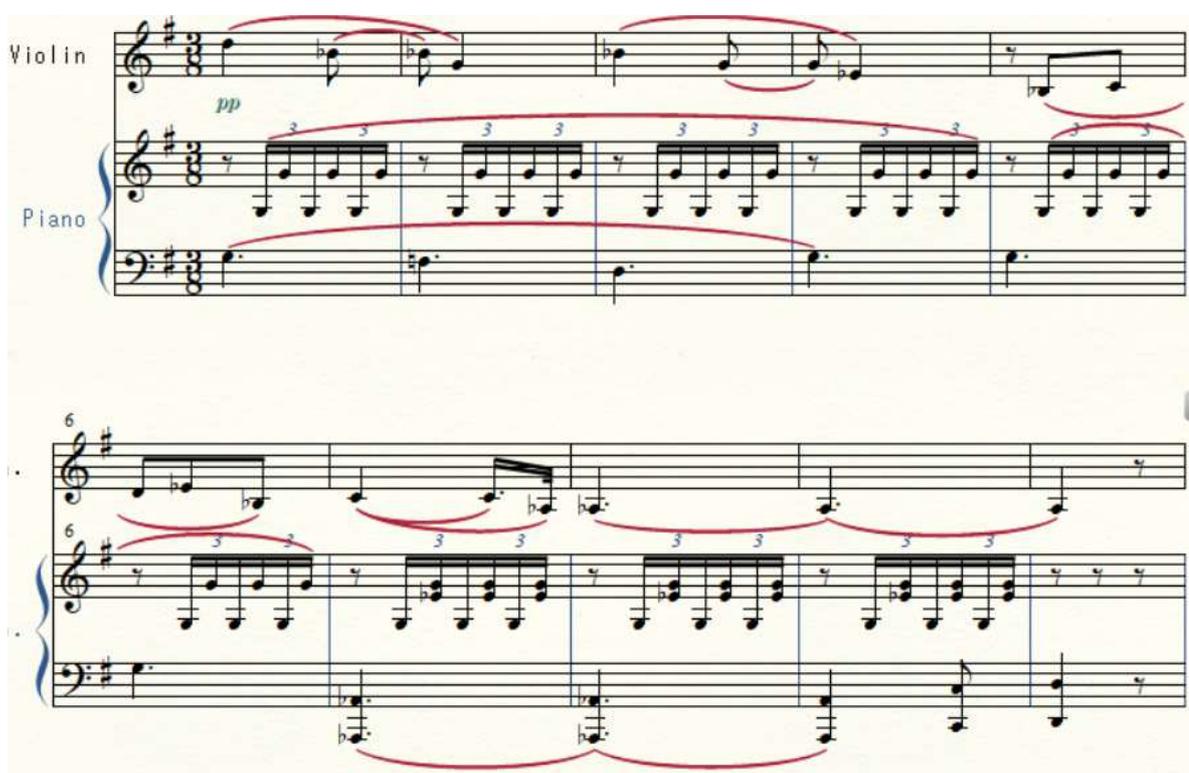
冒頭部分

The image shows the beginning of the first movement of Claude Debussy's Sonata for Violin and Piano. The score is in 3/4 time and B-flat major. It features a Violin part and a Piano part. The Violin part starts with a whole note chord (F4, A4, C5) and then moves to a half note (F4) and a quarter note (A4). The Piano part starts with a half note chord (F4, A4, C5) and then moves to a half note chord (F4, A4, C5) and a quarter note (F4). The score is marked with dynamics like *pp* and *p*. Red brackets highlight the initial chords and notes in both parts.

第2楽章 Fantasque et leger (気まぐれで軽快に) 2/4拍子
主旋律



第3楽章 Tres anime (非常に快活に) 3/8拍子、9/16拍子
冒頭で第1楽章が回想されます。



演奏時間 約12分

ヴァイオリンソナタとしてはかなり短い作品ですが、1918年3月にがんのために55歳で亡くなったドビュッシーには気力、体力の限界だったのでしょうか。

●プーランク : ヴァイオリンとピアノのためのソナタ

この曲は2021年9月例会で奥村さんが、2022年12月例会では郷古さんが演奏しています。以下は、郷古さんの例会時の曲目解説の再掲です。

フランシス・プーランク (1899-1963) はフランスの作曲家。軽妙洒脱な面と深い宗教的な面の双方で多数の作品を残しています。

ヴァイオリンソナタ は、1936年にスペイン内戦の最中に銃殺されたスペインの詩人フェデリコ・ガルシア・ロルカ（1898-1936）を偲んで1943年（第2次世界大戦でフランスがドイツに占領されていた時期です）に作曲した、プーランク唯一のヴァイオリンソナタです。プーランクはロルカの詩に関心を持っており、「フェデリコ・ガルシア・ロルカの3つの歌」という歌曲もあります。

第1楽章 Allegro con fuoco （熱烈に）

第2楽章 間奏曲 Tres lent et caile（非常に遅く緩やかに）

ロルカの詩の一節が次のようにフランス語で引用され、La guitare fait pleurer les songes（和訳：ギターは夢たちを泣かせる）ギターを思わせる奏法も登場します。

第3楽章 Presto tragico（悲劇的に）

ピアノで銃声を思わせる音が演奏されます。

演奏時間 約19分

●ガーシュイン：3つのプレリュード（ハイフェッツ編）

ガーシュウイン（George Gershwin 1898-1937）はアメリカの作曲家。

ハイフェッツ（Yasha Ruvimovich Heifetz 1901-1987）はリトアニア出身のヴァイオリン奏者。

ガーシュウインの3つのプレリュードは1926年に発表されたピアノ独奏曲。さまざまな楽器のために編曲がなされています。今日、演奏されるのはハイフェッツがヴァイオリンとピアノのために編曲したものです。

第1曲 Allegro ben ritmato e deciso

第2曲 Andante con moto e poco rubato

第3曲 Allegro ben ritmato e deciso

演奏時間 約7分。

●モーツァルト：ヴァイオリンソナタ 第29番 イ長調 K305

モーツァルト（1756-1791）の全43曲あるヴァイオリンソナタの1曲で1778年に作曲。

2つの楽章から成ります。

第1楽章 Allegro di molt 6/8拍子 イ長調

第2楽章 主題と変奏

Andante graziosoの主題の後に6つの変奏曲が続きます。

主題 2/4拍子 イ長調

第1変奏 2/4拍子 イ長調 ピアノのみで奏されます。

第2変奏 2/4拍子 イ長調

第3変奏 2/4拍子 イ長調

第4変奏 2/4拍子 イ長調 ピアノの短いカデンツァがあります。

第5変奏 2/4拍子 イ短調

第6変奏 3/8拍子 イ長調

演奏時間 約15分